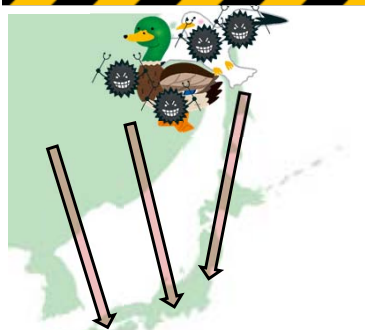


今シーズン（2020-21）は、
多量に鳥インフルエンザウイルスが
あちこちに存在しています！！



今シーズンは**世界的にも**
発生が相次ぐ非常事態。
カモや白鳥等の渡り鳥がウイ
ルスを持って大陸から飛来。
糞便等によって野山、池、道
路等にウイルスが排出。



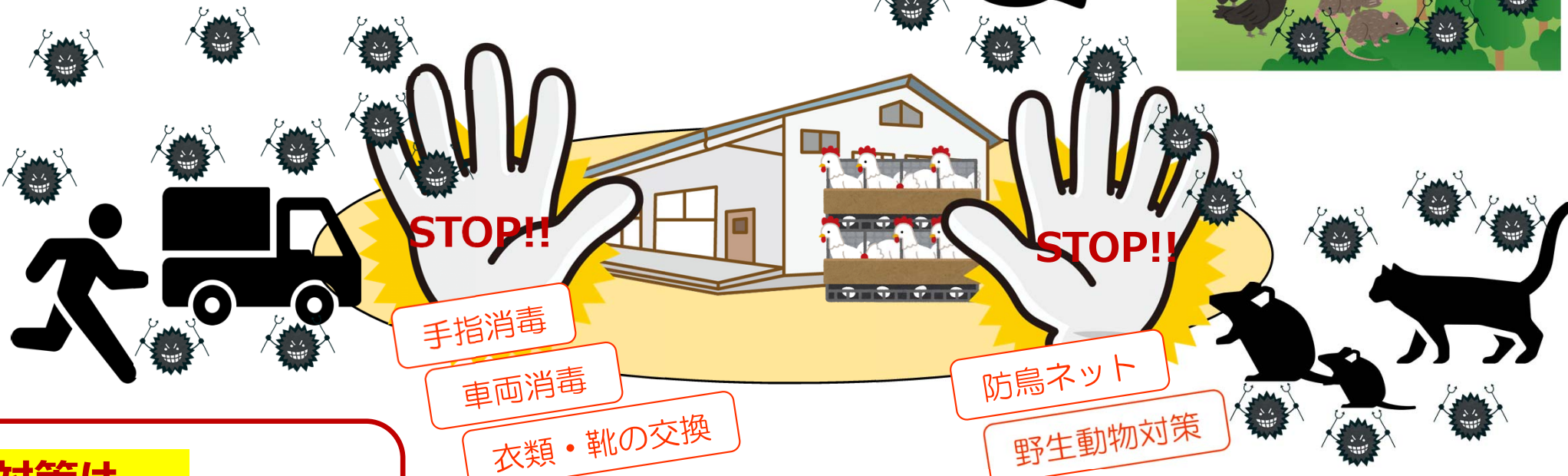
鳥や小動物を捕食する
ハヤブサやフクロウ等の
猛禽類も感染死

池、川、道路にも・・・



あちこちに

野山、森、公園にも・・・



STOP!!

STOP!!

手指消毒

車両消毒

衣類・靴の交換

防鳥ネット

野生動物対策

対策は・・・

消毒や防鳥ネットの管理など
全ての従業員による
飼養衛生管理の
基本の徹底!!

「ウイルスを農場内に入れさせない」
「ネズミやネコにも油断しない」

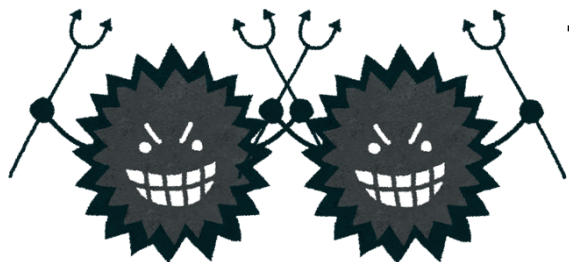
農場を守れるのは・・・
あなた
農場主だけ・・・

防鳥ネットや消毒機器等の整備など、
支援も用意していますので、
ご相談ください。



今シーズンのウイルスの特徴について

今シーズンは、農場周辺のあちこちに、
多量の鳥インフルエンザウイルスが存在。



でも...

農場・人・物・車両の消毒等により、
ウイルス量を**一定量以下まで減らせば、
感染を防ぐ**ことが可能です。



※農研機構の試験において、 10^5 EID50では鶏が死亡し、 10^4 EID50では死亡しない結果。
(1EID50：発育鶏卵の半分を感染させるウイルス濃度)

徹底的な消毒で、
この**渡り鳥の飛来シーズン**を乗り切れるよう、
関係者が**連携し、頑張りましょう！！**



鳥インフルエンザの症状

写真出典：農研機構動物衛生研究部門

特に、以下の症状には要注意。

元気消失



肉冠のチアノーゼ



顔面の浮腫性腫脹



突然死



今シーズンのウイルスは、感染してから
死亡するまでの期間が長い傾向
があるため、
鶏の症状に注意を払う必要があります。

必ずしも全ての症状がみられる
わけではないことに注意！！

「**いずれかの症状に当てはまる**」
「**何か異状がみられる**」
「**死亡羽数が増えている**」

そんなときは、
最寄りの家畜保健衛生所等に要
相談！！

早期発見
早期通報
● ●
が重要です!!